

第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会（第24期・第2回）議事録

日時：2019年7月12日（金）10:00-15:30

場所：日本学術会議6階6-A(1)会議室

出席：山口 周，菱田公一，安達 淳，田近英一，大西公平，小松利光，柴田直，茶谷直人，花本啓祐，吉村忍，米田雅子

欠席：川村光，小菌英雄，田辺新一

情報提供：市古みどり，船守美穂，小賀坂康志，中村正行，棚橋佳子

陪席者：松邑 勝治（JST），村上 絵美（JST），辻 幸子（CA），小形（国立大学協会）

議事：

1) 前回議事録の確認

- ・前回議事録の確認を行った。

2) 本日の分科会の趣旨説明

- ・本日は，電子ジャーナルの購読に関わる問題と出版に関わる問題を取り上げる。

3) 学術情報問題（1）：電子ジャーナル購読問題

- ・菱田副委員長から，資料2-1に基づいて出版大手各社への聞き取り結果について説明があった。

4) JUSTICE の活動

- ・市古みどり氏（慶応義塾大学三田メディアセンター）が，資料2-2に基づいて JUSTICE の活動について説明した。

5) 電子ジャーナル購読に関する最近の状況

- ・船守美穂氏（国立情報学研究所）が，資料2-3に基づいて電子ジャーナル購読に関する最近の状況について説明した。

6) 総合討論（1）：今後の検討の方針について

- ・3)～5)の説明を受けて総合討論を行った。

7) 議事：今後の検討の進め方

- ・山口委員長から，資料3に基づいて今後の検討の進め方について説明があった。次回以降は4つの小分科会（1. 学術情報発信小分科会，2. 電子ジャーナル購読問題小分科会，3. 学協会の活動強化小分科会，4. 理工学分野におけるオープンデータ／オープンサイエンス）に分かれて，各委員はそのどれか2つに参加して審議することとした。

8) 学術情報問題（2）電子ジャーナル出版問題

- ・山口委員長が，資料4-1に基づいて電子ジャーナル出版問題について説明した。

9) JST によるジャーナル出版支援

- ・小賀坂康志氏（JST）が，資料4-2に基づいてジャーナル出版支援について説明した。

10) 日本機械学会学術誌の現状について

・中村正行氏（信州大学）が、資料4-3に基づいて日本機械学会の学術誌の現状について説明した。

1 1) 日本の学協会が発行する学術誌の現状と未来

・棚橋佳子氏（クラリベイト・アナリティクス）が、資料4-4に基づいて日本の学協会が発行する学術誌の現状と未来について説明した。

1 2) 総合討論（2）

・8) - 1 1) の説明を受けて総合討論を行った。

1 3) 今後の検討の方針について

・次回から本分科会にあわせて小分科会を開催することになった。

・次回の理学工学系学協会連絡協議会開催の前に学協会のアンケートを実施することになった。

以上

配付資料：

資料0 議事次第

資料1 第1回第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会議事録（案）

資料2-1 学術情報問題（1）電子ジャーナル購読問題

資料2-2 J U S T I C E の活動

資料2-3 電子ジャーナル問題の新局面ー日本の研究力のこれから

資料3 第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会活動の今後の方針

資料4-1 学協会活動とジャーナル出版問題について

資料4-2 J S T によるジャーナル出版支援

資料4-3 日本機械学会学術誌の現状について

資料4-4 日本の学協会が発行する学術誌の現状と未来

参考資料1 第2回第三部理工系学協会の活動と学術情報に関する分科会スケジュール

参考資料2-1 J-STAGE ニュース No. 40

参考資料2-2 J-STAGE ニュース No. 41

参考資料3 プランSの影響：学術出版にとっての意味